



新博物館建設への要望書が 博物館の木下館長へ手渡される

10月5日(木)、お城周辺地区まちづくり推進協議会と中央地区町会連合会は、市立博物館の木下館長のもとを訪れ、三の丸地区整備基本方針や市民ワークショップで出された意見を踏まえながら、新博物館建設に対する要望書を渡しました。



木下館長に要望書を手渡す
大宮会長

要望書には勾配屋根からの落雪や落水に対する措置、景観に配慮した外観デザインの工夫、隣地の住民の声や周辺のプライバシーの考慮、夜も

人が賑わう博物館となるような運営などが記載されており
ます。

要望書を受け取った博物館の木下館長からは、「今後も住民の皆さんとの意見交換等を行いながら真摯に取り組んでいきたい」と話されており
ました。

基幹博物館整備事業 平成29年11月までの経過

- 29.7.31 久米設計・伊藤建築設計事務所・乃村工藝社のJV(共同企業体)と設計業務委託契約を締結
- 8.23 第1回設計者との定例会議(現在まで8回開催)
- 9.27 第1回松本市基幹博物館建設検討委員会及び展示専門部会を開催
- 10.15 第1回市民ワークショップを開催
- 16 第1回文化庁協議
- 25 第2回展示専門部会を開催
- 11.17 第2回市民ワークショップを開催

立派な門松を公民館前に!



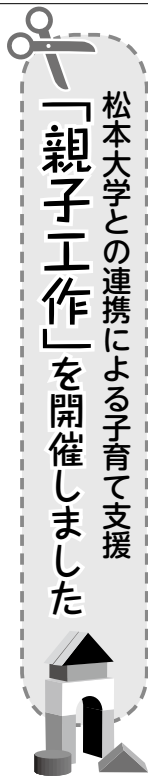
毎年立派な門松をありがとうございます

12月19日(火)、寒風吹きすさぶ中、中央地区役員9人の皆さんが、大手公民館前で毎年恒例の門松作りを行い、高さ約2・5mの立派な門松が完成しました。
竹は、小泉修平さん、赤松・紅白南天は、藤村吉彦さん、菰は、犬飼富雄さんがワラをきれいにすいてくださり、藤田久夫さんと湯本信一さんが

編み上げました。役員の皆様のお陰で、毎年どこにも負けない門松を大勢の皆さんにご覧いただいております。来年は、正月飾りの作り方を多くの住民が学べる、そんな機会もつくれる、そんな考えております。地区役員の皆様、寒い中お疲れ様でした。



「親子工作」を開催しました



12月12日(火) 大手公民館の「中央地区育児の集い」にて松本大学向井ゼミナールの学生6名が、未就園児と子育て中の母親6組を対象に親子工作を行いました。これは未就園児を持つ母親の居場所づくりと子育て支援を目的に、福祉ひろばと公民館事業の「中央地区育児の集い」と松本大学生が下町会館で行う「ホッとコーヒー飲みませんか?」が連携をしたものです。

お母さん方が「毛糸を使ったリース」と「牛乳パックを使ったクリスマスオーナメン



学生たちと遊ぶお子さん

ト」を作る横で、新聞紙を入れたプール、ままごと、積み木、輪投げを使いお子さんと学生が共に遊ぶことで、お母さん方がゆっくりとくつろぐ時間



お母さんたちは楽しく工作!

と居場所をつくりました。今回の事業をきっかけに、今後も子育て中の悩みを互いに話すことのできる関係づくりを行っていかれたらと考えています。

松本市地域づくりインターン
浜 由佳子

恒例の
中央地区
餅つき大会



アルプちゃんとガンズくんも参加しました

12月27日(水)、年末恒例のもちつき大会が開かれま

中央地区
新年初顔合わせ会



地区役員代表による鏡開き

中央地区新年初顔合わせ会が1月5日(金)、午前11時から、大手公民館大会議室にて開催されました。記念すべき平成30年のス



ついたお餅をみんなで食べたよ!

した。もち米約14キロを蒸し、臼ときねを使った昔ながらの餅つきを、地元の親子ら約50人が楽しみました。また今年は、松本山雅FCの公式マスコットキャ

タートを祝い、地区住民・関係団体役員など、約70人の皆さんが賑やかな時間を過ごされました。中央地区では松本城南・西外堀復元事業および内環状北線整備事業、基幹博物館整備事業や市役所新庁舎建設など「将来世代のためのハード事業」により、街なみが大きく変わろうとしております。連合会の藤村会長からは、「事情によって転居をされる住民の皆さんにも引き続き地区の集まりの際には顔を出してほしい」との呼びかけがありました。

ラクターであるガンズくん、松本市のアルプちゃんにも来ていただきました。一緒に餅つきをしたお子さんからは、「ガンズくんとお餅つき楽しかったー」と喜びの声が上がっていました。小雪舞う寒い日となりましたが、年末の良い思い出となったことでしょう。

長元坊 チョウゲンボウ

火災について思うこと

島田 辰雄(天柳町町会)

本年も秋の火災予防運動が行われました。今年是全国的にも火災事故が多いと報じられており、改めて防災意識の向上が求められています。

私はこの時期になると、二十余年も前の市役所東庁舎の火災が今でも思い出されます。私はたまたまその火事の最初の発見者でありました。二度とあってはならないあの巡り合わせが心に重く残る体験でした。あの日、早朝散歩に出かけた直後、道路の並木越しに細く立ちのぼる煙に異常を感じ、駆け足で走り火事を確認して近くのAさんの戸をたたき、消防署への通

報をお願いしました。それから消防車が来るまでの間に吹き出る火はさらに拡がり、目を覆いたくなるような凄まじい光景でした。その後、数多くの消防車と素早い消防士の活動により、近隣への類焼もなく最小限の被害で済んだことは不幸中の幸いでした。

私はこの火災で多くを学びました。早期発見と通報の迅速化は勿論ですが、大切な事は日頃の消火設備の確認などもその一つです。それは反省点とも言えますがあの時駆けつけた消防士の方から「道路上の消火栓のある場所はどこか」と聞かれましたが、私を含めて近所のどなたも知りませんでした……。

当時、私はたまたま町会長でしたのでその後、町内の役員の方とともにさっそく町内の消火栓のある場所を調べ、町会の皆さんに周知した次第です。このことから非常に時に備え消火設備の確認は家庭内でも大切な事と痛感しました。

なお、後日、当時の市役所の助役さんと議長さんの来訪があり、町内会に対する火災のお詫びと協力へのご丁寧な謝意をいただきました。ありがとうございました。

松本城の野鳥たち ④
キンクロハジロ



写真は久保田佐久良さん(岡田在住)が松本城の内堀で撮影

キンクロハジロは、カモ目カモ科ハジロ属に分類される鳥類です。全長は約40cmで冬鳥として池や河川に生息し、時には海上で見られることもあります。食性は雑食で、水生植物や昆虫、魚類やカエルも食べます。

シベリアやヨーロッパ北部などで繁殖しますが、日本では1970年に大阪市天王寺動物園が初めて飼育下繁殖に成功したそうです。また、金色の目、黒い体、白い翼帯が特徴で名前の由来ともなっています。